

平成28年教育委員会第8回定例会会議録

開会日時 平成28年 8月10日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時30分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 天宮 久嘉
同職務代理 日高 芳一
委 員 杉浦 容子
委 員 塚 本 亨
委 員 大里 豊子
教育長 塩澤 雄一

議場出席委員

・教育次長	坂井 保義	・学校教育担当部長	平沢 安正
・庶務課長	杉立 敏也	・学校施設課長	青木 克史
・学校施設整備担当課長	長南 幸紀	・学務課長	鈴木 雄祐
・指導室長	中川 久亨	・統括指導主事	加藤 憲司
・統括指導主事	塩尻 浩	・地域教育課長	山崎 淳
・生涯学習課長	小曾根 豊	・生涯スポーツ課長	倉地 儀雄
・中央図書館長	鈴木 誠		

書 記

・企画係長 富澤 章文

開会宣言 委員長 天宮 久嘉 午前 10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 天宮 久嘉 委員 日高 芳一 委員 塩澤 雄一
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

○委員長 おはようございます。

出席委員は定足数に達しておりますので、ただいまから平成28年教育委員会第8回定例会を開会いたします。

本日の会議録の署名につきましては、私に加え、日高委員と塩澤教育長にお願いいたします。議事に入る前に、お諮りしたいことがございます。

まず、本日、1名の傍聴の申し出がありました。許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 それでは、傍聴を許可することといたします。

それでは、入室のほうをよろしくお願いします。

(傍聴人入室)

○委員長 委員長から傍聴人の方へ申し上げます。

葛飾区教育委員会傍聴規則等の規定により、傍聴人は次の事項を守ってください。

1、傍聴人は委員会の中では発言できません。2、傍聴人は静粛を旨とし、委員の言動に対し、拍手など賛否を表するようなことはおやめください。3、傍聴人は、写真撮影、録画、録音を行わないでください。なお、携帯電話の電源はお切りくださるようお願いいたします。4、傍聴人は、その他会議の妨げとなるような行為はしないでください。

なお、傍聴人に、これらの規則等に反する行為があった場合は、退室していただくこととなりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、議事日程に入らせていただきます。

議案第33号「平成29年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」、上程をいたします。

指導室長、お願いします。

○指導室長 それでは、議案第33号「平成29年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」、ご説明いたします。

提案理由といたしましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第13条の規定に基づきまして、平成29年度使用義務教育諸学校の教科用図書を採択する必要がありますので、本案を提出するものでございます。

まず初めに、小学校及び中学校の検定済み教科書採択についてでございます。

議案を1枚おめくりいただきまして、2枚目と3枚目の別紙1及び別紙2について、ご説明をさせていただきます。

小学校及び中学校で使用します教科用図書は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関

する法律施行令第 14 条の規定によりまして、毎年度、種目ごとの同一の教科用図書を採択するものとされております。

採択の時期は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第 13 条第 1 項に規定するところによりまして、前年度の 8 月 31 日までに行うこととなっております。

また、同一の教科用図書を採択する期間は 4 年とされており、現行の小学校用教科書が平成 27 年度から平成 30 年度までの 4 年間、中学校用教科書につきましては、平成 28 年度から平成 31 年度までの 4 年間、同一の教科書を使用することとなります。これにつきましては、別紙 1、別紙 2 の採択一覧表のように、今年度と同一の教科用図書を採択することとなりますので、これにつきましてもご審議をお願いできればと思います。

次に、4 枚目からになります。4 枚目から 5 枚目まで、別紙 3 及び別紙 4 についてですけれども、来年度、平成 29 年度に使用いたします学校教育法附則第 9 条に規定されております特別支援学級での使用予定の一般図書の採択でございます。

学校教育法附則第 9 条の規定いたします特別支援学級で使います一般図書につきましては、同法の施行規則第 139 条の規定によりまして、教科により、当該学年用の文部科学省検定教科書を使用することが適当でないとき、他の適切な教科書を使用することができる旨定められております。

また、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第 14 条に規定いたします、同一の教科用図書を採択する期間の 4 年が除外されておりますので、児童・生徒の障害の程度や、種類・特性などに応じて、毎年、採択がえを行うことができるとなっております。

このことにつきまして、各学校が児童・生徒の実態に応じて、調査・研究をいたしまして、学校長が責任を持って教育委員会に報告してきたものでございます。

また、児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性等に応じて、十分配慮した内容となっておりますので、これも別紙 3 及び別紙 4 の一覧表のとおり、採択をしていただければと思っております。

以上、平成 29 年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択につきまして、ご説明をさせていただきました。

ご審議及び採択の決定につきまして、どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長 ありがとうございます。

それでは、「平成 29 年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」、審議に入りたいと思います。

ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。

大里委員、お願いします。

○大里委員 現在、使われている教科書は、小学校では 1 年と 1 学期、それから中学校のほう

で1学期間使用しているということになると思いますけれども、学校現場のほうからは何か意見などは出ていらっしゃるのでしょうか。

○委員長 指導室長。

○指導室長 4年間使う小中学校の教科書となっておりますが、特に使い勝手が悪いとか、内容に不都合があるという話は指導室のほうには来てございません。

各学校では、校長からの報告を受けておりますけれども、教科書をもとに工夫した授業を行うように努力していると聞いているところでございます。

○委員長 ありがとうございます。

ほかに何か委員の方からご意見ございますでしょうか。

塚本委員。

○塚本委員 ただいま冒頭に指導室長からのご説明いただきまして、またその根拠、背景は十分理解してございます。

現在、使われています教科書は、以前と比べますと、ページ数がふえてきておるように思います。

また、教える内容もふえているということですが、小学校も中学校も教科書の内容を全て教えることができるのか。また、授業時数が足りなくならないのか。その辺を少し伺ってみたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員長 指導室長。

○指導室長 今、委員お話のとおり、前回の学習指導要領の改定により、指導する内容がふえましたので、教科書の厚みも増しております。

各学校では、年間指導計画に基づきまして、授業を実施しているところでございますので、教科書の内容を教え切れないという状況は今のところございません。

また、指導におきましても、学期ごとに計画した授業時数が不足しないように、各学年より授業時数の報告を受けております。

そして、授業の進捗状況を把握いたしまして、予定の授業時数が不足しないように、学校の形態・実態によって、不足する恐れがあるときには、早めに学校へ指導・助言を行って、不足することのないように努めているところでございます。

○委員長 ありがとうございます。

ほかに何か委員の方、ご意見ございますでしょうか。

杉浦委員。

○杉浦委員 現在の学習指導要領では「言語活動の充実」が上げられておりますが、その「言語活動の充実」ということにつきまして、現在採択されている教科書がどのように活用されているのでしょうか。その辺をちょっとお聞かせいただきたいと思います。

○委員長 指導室長。

○指導室長 現在、使用中の各教科の教科書には、それぞれの学習のまとめのときに、後に学んだことを文章にまとめたり、さらに話し合ったりする言語活動の場面が随所に盛り込まれております。

そして、言語活動の充実が進められるようになっておりまして、その言語活動の充実に向けた教科書の活用が行われている状況でございます。

また、教育委員会研究指定校として、言語活動の充実に向けた研究の実践も積み重ねているところでございます。

○委員長 ありがとうございます。

ほかに何かご意見などはありますか。

それでは、小学校の教科用図書につきましては、平成 27 年度から平成 30 年度までの 4 年間、同一の教科用図書を採択することになっておりますので、別紙、平成 29 年度使用教科用図書採択一覧表（小学校用）のとおり採択することになりますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長 異議なしといただきましたので、平成 29 年度使用の小学校の検定済み教科書の採択につきましては、別紙の平成 29 年度使用教科用図書採択一覧表（小学校用）のとおり採択することに決定いたしました。

続きまして、中学校用の教科用図書につきましては、平成 28 年度から平成 31 年度の 4 年間、同一の教科用図書を採択することになっておりますので、別紙、平成 29 年度使用教科用図書採択一覧表（中学校用）のとおり採択することになりますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長 異議なしと認め、平成 29 年度使用中学校の検定済み教科書の採択については、別紙の平成 29 年度使用教科用図書採択一覧表（中学校用）のとおり採択することに決定いたします。

最後に、平成 29 年度使用附則第 9 条、一般図書の採択の審議に入ります。

平成 29 年度使用教科用図書（特別支援学級）採択一覧表（小学校用）及び平成 29 年度使用教科用図書（特別支援学級）採択一覧表（中学校用）について、ご意見はございませんでしょうか。

日高委員、お願いします。

○日高委員 先ほど、小学校についてもご意見がまとまりましたけれども、同様でありまして、こちらにいただきました小中学校の特別支援学級で使用する一般図書、これは文科省が収録しております一般図書一覧、さらには東京都教育委員会の調査研究資料などを参考にして、児童・生徒の興味が持てて、より理解しやすい図書、まさにふさわしい図書を選定した報告になっていると思います。

特に、図鑑や標本など、視覚的にわかりやすい図書、身近な生活と関連した内容を取り扱うなど、児童・生徒の障害の特性を踏まえた内容になっているものと思います。

よって、これで結構だと思います。

よろしくお願いします。

○委員長 ありがとうございます。ほかにご意見はございますか。

杉浦委員。

○杉浦委員 特別支援学級の教科書についてですが、年度によって、個に応じた特別支援を必要とするお子様が入学してくると思います。例えば、採択されているこの教科書だけではなく、個に応じた特別支援を必要とするお子様によりそって使用したい教科書がある場合、途中で購入することが可能かどうか、教えていただけますか。

○委員長 指導室長。

○指導室長 済みません。そちらのほう、今、ちょっと即答できませんけれども、後ほど調べてお伝えしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長 わかりました。

そのほか、ご質問等はございますでしょうか。

塚本委員、お願いします。

○塚本委員 ただいまの杉浦委員の質問ですが、指導室長がお調べいただけるとおっしゃったのですが、副教材的な利用の仕方があればいいというような意見を伺ったと思いましたので、その点は先生等の裁量にある程度委ねられればいかなという感想を持ちました。

以上です。

○委員長 そのほか、ございますか。

それでは、お諮りをしたいと思います。

平成 29 年度使用教科用図書特別支援学級、小学校用及び中学校用につきましては、一覧表に記載されている図書を採択することに、ご異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。異議なしということですので、この一覧表のとおり、平成 29 年度使用教科用図書特別支援学級、小学校用及び中学校用を採択することに決定いたします。

指導室長。

○指導室長 ご審議、そして決定、ありがとうございました。

即日公表させていただきますとともに、各学校には、この教科書を主たる教材として、児童・生徒がしっかりわかる授業、そして一人一人の児童・生徒に応じた指導を教科書に沿って行うように、今後、学校長に対して、続けて指導してまいりたいと思います。

どうもありがとうございました。

○委員長 ありがとうございます。

それでは、議案第33号は、原案のとおり可決といたします。

続きまして、報告事項等の1に入らせていただきます。

『かつしか進路フェア 2016』の実施結果について」につきまして、説明をよろしくお願いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 それでは、私から報告事項等1「『かつしか進路フェア 2016』の実施結果について」、ご説明させていただきます。

先週の土曜日、8月6日ですけれども、早朝からテクノプラザにお集まりいただきまして、ありがとうございました。この場をおかりして、改めてお礼を申し上げたいと思います。おかげさまで、大変盛況のうちに終えることができました。

状況でございますが、会場はテクノプラザかつしかでございます。それ以降の資料の4から6までの記載は、昨年までと同様でございます。7の「内容」のところがございます「(3) スクールカウンセラーによる相談コーナー」ですとか、昨年からはまりました「(4) かつしか子ども・若者応援ネットワークによる相談コーナー」、このところは、昨年に比べますと、若干件数がふえているという状況がございました。

8の「参加校」でございますけれども、1校が急遽参加できなくなったということで、100校になってしまいましたけれども、例年同様、多くの高校に参加していただけたと思っております。

11の「参加者数」でございますけれども、2,743人。昨年までは集計に若干時間を要してまして、速報値ということでご報告をさせていただいておりましたが、集計の仕方を工夫しまして、即日ではないのですけれども、短い期間で確定値を出せるようにし、今回はこのように報告させていただきました。

昨年が2,839人でしたので、96人の減ということですが、それまでの2,500人弱に比べますと、やはりことしもそれなりの人が来ました。ちょっと出足が、オリンピックの影響があったかどうかはわかりませんが、例年ほどではないという状況はありましたが、終わってみれば、昨年よりは少ないものの、やはり相当の人数が来たということでございました。本当にありがとうございました。

13の「その他」でございますけれども、(1)昨年度、こちらがより見やすいだろうということで、3階の会議室に、商業とか工業を集め、あるいは2階でも男子校、女子高別にブースをつくったのですけれども、特に3階がなかなか行きづらいと、非常に不評でございました。隣に同じ種類の学校があつて、なかなか席を移って相談しづらいという声もアンケート等ではありましたので、再度工夫し、そこが重なり合わないようにしました。その上で、ある程度人

気のある学校を3階に持ってきました。3階に行ってみましたら、朝から結構盛況でしたので、そこはうまくいったのかなと思います。

それから、例年、お客さんが多いところは少しブースも広げました。多少、行列はできましたけれども、混乱はなかったかなと思っております。

来年も、そういう形でやっていきたいと思っています。

ただ、(2)にございますように、来年度はテクノプラザの改修工事が3月から一応8月いっぱいまで予定されておりますので、ちょうど実施時期にかかります。現在、検討中ではございますけれども、お隣の南葛飾高校が校舎のリニューアルをしましたので、会場として使用できないかということ、今、内々というか、実行委員会で学校側と調整をしている状況でございます。

今のところはいいい反応をいただいておりますので、そこでできるかなと思っています。ただ、いかんせん初めてでございますので、ちょっと課題もありそうです。この後、実行委員会等よく協議して、準備を進めていきたいと思っています。

それから、14の「参加生徒・保護者アンケート結果」でございますけれども、「参考になった」という回答は昨年度も高かったのですけれども、さらに高くなって、相当の方が「参考になった」と受けとめていただいたと思っています。

それから、「受験したい高校が見つかった」という回答も、ここ2年ぐらいは60%台だったのですが、今回は70%台と、高い回答を得ました。

そういう意味では、やはりもう定着してきており、この場でいろいろな情報を得て、進路決定の参考にしているという状況もまた改めて確認できたのかなと思っています。

来年以降も子どもたちの役に立てるように、引き続き取り組んでいきたいと思っております。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○委員長 ありがとうございます。

今年度も例年どおり、「かつしか進路フェア」は実行委員会として中P連のOB会や、青少年委員の方々が、暑い中、お手伝いいただきましてありがたいのですけれども、ことしの進路フェアにつきまして、何かご意見等ございますでしょうか。

日高委員、お願いします。

○日高委員 私、初めて参加させていただきましたが、すばらしいと思いました。恐らく、こうした取組みは、ほかにあるのか、非常に少ないのではないかと。あっても本当に、初めて葛飾がこういうふうに住掛けたのかなとさえ感じました。

暑い中を、これだけの多くの子どもたちや保護者が参加しているというのは、すばらしいですね。まさに進路の選択をしていくときの一過点として、いい体験をされているのではないかと思います。特に、中学校1年生、2年生も来ているように、この意識が啓発されていくと、

自分の進路について、本当に真剣に考えていくのではないかと思います。

同時に、この調査結果、アンケート結果を見てわかりますね。自分が受験したい高校が見つかったと回答した生徒が75%を超えているのですよ。中学の進路指導をやったって、こんなにすぐ行きません。1日参加してこの数値が出てきたというのは、すごい評価になるのではないのでしょうか。

そのように、現実になるかどうかは別としても、「この学校に行きたい。」そう思えた子どもたちがいたということは、すばらしいと思います。

それは、100校に及ぶ高校の努力があるのではないのでしょうか。

ぜひ、生徒の声を各学校に伝えていただくと、意欲にもつながると思いますので、そういう視点でお進めいただければありがたいと思います。

うれしかったのは、葛飾野高校。1部屋をあんなに広く使って、それでも待っているのですよ。「葛飾野学校がこんなに人気があるのだ」と思ったら、何だかうれしくなりました。

やはり、子どもたちが、自分の身近にある学校に対して、興味・関心・意欲を持つということは、物すごくいいなと思い、非常に好感を持ちました。

こういう取組みをこれからも1回1回積み重ねていただいて、子どもたちにとって良い機会にしていきたいと思います。

最後に1点だけ。

中学校の校長先生を、何人か見かけました。学校関係、校長先生方を含めて、どれぐらい参加したか、もし、わかりましたら教えてください。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

生涯学習課長、よろしいでしょうか。

○生涯学習課長 ありがとうございました。

葛飾野高校は、VIPルームのような部屋をブースにするということで対応しました。南葛飾高校もやはり人気があるということで、1階の比較的広いスペースをブースとさせていただいたという経緯がございます。

そして、子どもたちのために続けるというのは、私どもも全く同じでございますので、ぜひ取り組んでいきたいと思っています。

それから、中学校の校長先生も、2階の受付で名前を書いていた方は何人かいらっしゃるのですけれども、受付簿に気が付かないで会場を回っていらっしゃった、校長先生や先生方がいらっしゃったようです。お名前を書いていた校長先生が7人、全体の3分の1ぐらいでした。他にも、我々がお見かけした先生もいらっしゃいました。それ以外にも、主幹の先生方がいらっしゃったのではないかと思います。なかなかつかみ切れていない部分があ

ざいますので、わかる範囲では今のとおりでございます。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

日高委員。

○日高委員 ありがとうございます。

私は学校の参加名簿をいただいていたほしいのです。各学校から来た参加者の名簿です。やはり参加状況を把握すると、やっている事業の意味合いが、確実に分析できますからね。それは簡単な方法だと思います。要するに「学校名にチェックしてください」、それだけでいいのです。校長先生でなくても進路指導の先生でもいいのです。そういうことができたならありがたいと思いますので、何か参考にしてください。

以上です。

○委員長 生涯学習課長。

○生涯学習課長 ありがとうございます。なかなか学校の先生まで把握するということまで思いが至っていないのが正直なところですので、また実行委員会でもそういう提案をしてみたいと思います。

○委員長 今後よろしくお願いします。

塚本委員。

○塚本委員 今、日高委員がおっしゃっていただいたのは、全くそのとおりの実感がありました。それで、後段おっしゃった部分は、やはり葛飾の基本計画にございます、大きな柱になっている子どもたちの健全な育成という意味で、これまで6回に至る過去の経緯もそのメンバーで一番最初に立ち上げた方と控室でお話しさせていただいたのですが、ここまで定着しているのであれば、先ほど日高委員がおっしゃったように、広報の中に、葛飾の教育という部分のコマがこの中にあれば、こういったことの道を設けている教育委員会が、あるいは関与しながら、子どもたちの道の道しるべとなるべく努力をしているという計画はぜひ周知させていただきたい。

それと同時に、各学校長に提案していただくといいのかと。進路指導という部分であれば、やはり今後の教育を示しながら、情報提供だけではなくて、やはり現場にいろいろなお忙しい中でも、何人か私も校長先生にお会いしましたので、そういった意味では、任せっ放しではなくて、やはり送り出す以上は見届けるというものもぜひお願いしたいと感じました。

以上です。お答えは結構です。

○委員長 生涯学習課長。

○生涯学習課長 実は、区のホームページも、なかなかこういう事業はトップページには載せていないのですが、今回、トップページに載せたところ、区外の人たちからも反響があって、

問い合わせが何件か来たという状況でしたので、また来年以降もそういう形でPRの工夫はしていければ、より裾野も広がっていく可能性があるかと思っています。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

他にご意見、ご質問ございますか。

大里委員。

○大里委員 私も進路フェアに行かせていただきました。先ほど日高委員もおっしゃいましたけれども、私のまわりでも、保護者の皆さんに聞く限り、皆さん行くとおっしゃっておりまして、3年生以外でも1年生、2年生の保護者の関心も高く、生徒さんもたくさん来ていたようです。

約100校の高校が参加しているというのは、大変すばらしいことで、自分の関心のある学校以外でも、たまたま話を聞いたところに出会いがあったりということもあると思いますので、進路選択に非常に役立たせていただいていると思います。

当日は、中学校OBPTA連合会の皆さんや青少年委員の皆さん、それから小松中学校、新小岩中学校、上平井中学校のPTAの皆さんも、お手伝いしていらっしゃいました。多くの方々に支えていただいて、本当にありがたいと思います。ありがとうございました。皆さん、お疲れさまでした。

○委員長 生涯学習課長。

○生涯学習課長 ありがとうございます。先ほど来、1・2年生の参加というお話もごさいますが、学年の集計までは、まだできておりません。その集計はこれからになってしまうのですが、昨年の数字を見ますと、生徒の数は、3年生は900人余りでした。2年生は360人ほど来ていました。保護者の方も大抵同じぐらいの人数が来ていました。1年生は100人には満たないのですけれども、やはり2年生も来年は自分だという意識を持って、来るのかなという感じがこれを見てもわかりますし、恐らく傾向は変わらないかと思っています。

それから、青少年委員の方ですとか、OP連の方、おやじの会ですとか、ご協力いただいて、昨年まで実行委員長を務めた方が、みずから率先して表で自転車の整理をやっていただいたりという状況もございました。本当にいろいろな方に支えられて、この事業が進められているというのは、ありがたいこととございますし、きょうの教育委員会で、教育委員の方からそういう声があったことも、実行委員会に返していきたいと思っています。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ほかはよろしいでしょうか。

それでは、報告事項等1を終了させていただきます。

ここで、本日の案件は終了ですけれども、各委員からご意見等ございましたら、また何かお伝えしたいことがありましたら、お願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、「その他」へ入らせていただきます。

庶務課長、お願いします。

○庶務課長 それでは、「その他」について、説明させていただきます。

まず、1の資料配付でございます。「(1) 9月行事予定表」、A4両面で配らせていただいております。

次に、「(2) スポーツ推進だより (No.68)」でございます。

今後につきましては、「あなたの街のスポーツ推進委員です。」ということで、スポーツ推進委員さんを紹介させていただく内容が主なものでございます。

続きまして、2の「出席依頼」につきましては、今回、ございません。

3の「次回以降の教育委員会予定」は記載のとおりでございます。

以上でございます。

よろしくお願いたします。

○委員長 ありがとうございます。

その他、よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして、平成28年教育委員会第8回定例会を閉会とさせていただきます。

どうも皆様ありがとうございました。

閉会時刻 10時30分